

e ナースセンターの求人情報を見直して マッチング率アップ！



マッチング率を上げるためのポイント

「看護職の求めるもの、重要視するもの」



Point 1 柔軟な働き方

○求職者が求める柔軟な働き方

- ✓ ワークライフバランスを考えると働く時間を短くしたい。
- ✓ 育児や介護と両立しながら働きたい。
- ✓ 定年退職後、セカンドキャリアを活かして働きたい。



- 1日の勤務時間を短く

例) 8:30~12:30, 13:30~17:00, 15:00~18:30 など

- 週の勤務日数を少なく

例) 月・水・木, 火・金, 火・木など

- 特定の時間帯（早朝、夕方等）に勤務するかどうか選べる
- 特定の曜日（土日・祝日等）に勤務するかどうかを選べる
- 夜勤を免除、または回数を減らす
- 未経験からの応募が可能かどうか
- 「プラチナナース」の活用

プラチナナースとは： 定年退職前後の就業している看護職員で、自分のこれまでの経験をふまえ、持っている能力を發揮し、いきいきと輝き続けている看護職員。



※求職者と求人施設間で、勤務時間、勤務日数など相談しながら決めることができる

✧ 求人施設に取り組んでいただきたいこと

- 求人時： 多様な働き方について、いつでも相談できる
- 採用後： 働き始めてからも必要に応じて調整できる仕組みをつくる
例) 看護管理者と定期的な面談、スケジュール申込時の確認
- 「就業継続意欲」「仕事満足度」「生活満足度」が高まる取り組み
例) ・有給休暇取得状況や超過勤務時間、育児短時間勤務利用実績などの実態把握
・能力開発のための休職・休暇制度がある
・育児支援、介護支援の制度がある

Point 2 職場環境

○求職者が求める職場環境

- 職場の雰囲気、看護職員の背景（年代、勤続年数等）
- 職員間のコミュニケーション
- 看護職員と介護職員間の連携
- 医師とのコミュニケーション（診療時、施設の体制、業務調整など）
- 入職後のフォロー体制



✂ 求人施設に取り組んでいただきたいこと

- 業務内容や職場の雰囲気を確認できるよう、施設見学の実施
- 職場風土の面では、上下関係にこだわらず、主張すべきことを自由に話し合える風土づくり、業務が終われば周囲に気兼ねなく帰ることができる職場
- 教育体制や支援体制を職員間で共有している

Point 3 具体的な業務内容

○求職者が確認したいこと

- 担当する業務の範囲
- 電子カルテ導入の有無
- 使用する機器など
- 必要なスキル
- 施設の特徴

クリニック
介護保険施設
病院
訪問看護



○求人施設で取り組んでいただきたいこと

- 仕事内容が、具体的なイメージとして求職者に伝わるよう求職票に詳しく書かれている。
- 施設の特徴や勤務部署の特徴を具体的に知ることができる。
- ホームページから知ることができる

